

五稜郭 函館市五稜郭町 44

五稜郭は新政府軍と旧幕府軍との最後の戦闘「箱館戦争」の舞台となった場所。ヨーロッパの城塞都市を参考とした星形の西洋式城郭で中心に建つ「箱館奉行所」は、かつて江戸幕府の役所として利用された庁舎の 1/3 の規模を復元したもの。箱館戦争で旧幕府軍に占領され、その本拠となった。現在残る星形の遺構から外側 100～350 メートルには、北と北西を除いて外郭の土塁がかつて存在したが、現在では国有保安林となっている箇所以外、面影は失われている。すぐそばに建てられた高さ約 100 メートルの五稜郭タワーも、五稜郭と同じく星形をしており、タワーから五稜郭を一望できる。



馬出壘のはね出し

奉行所入口



濠

土塁



奉行所

濠の水路

タワーからの俯瞰図



世界の五稜郭